

2019年度（第12回）事業報告

1、事業報告承認の件（2019年4月1日～2020年3月31日）

【1】内部研修

（1）団体間交流（10分間スピーチ）

目的：相互理解を深める

せっかく福祉ネットの会員になられた皆さんと日頃のつながりが感じられるように、互いに知り合い、悩みなどを共有しあえる関係づくりをめざし、各団体が順番に10分間スピーチを行いました。事業計画では1回、2団体の発表としていましたが、1団体に絞り、質疑応答も含めて30分間としました。特に近年新しく加入された団体とご無沙汰している団体を中心に発表していただき、事業内容を興味深く理解することができました。

都合により6回しか開催できなかったため、次年度も継続していきます。

発表月日	回数	団体名	発表者
2019年7月18日	第1回	てみずの会	桑原さん
9月19日	第2回	神戸コミュニティラボ	高梨さん
10月17日	第3回	西すず安心センター	秦さん
11月21日	第4回	はんしん高齢者くらしの相談室	藤田さん
12月19日	第5回	神戸西助け合いネットワーク	在里さん
2020年1月27日	第6回	鶴甲サポートセンター	桑田さん

（2）「ゴミだしサミット(仮)」の実現に向けての研修

7月31日 ゴミ出し実施の7団体（はなたば・だんらん・リーフ・助け合い・ライフ・コープ・鶴甲・西助け合い）が集まり事例検討や意見交換をした。

各団体の活動状況が大きく違うので全市では困難と判断し、まず灘区で社協と連携して交流会を実施していくことになった。灘区では1月22日の地域ケア会議の中で提案し、必要性は確認された。社協と準備の打ち合わせ会議をする予定。

【2】地域課題発掘事業

神戸市介護保険課との話し合い

8月29日（木）16時30分～17時30分

例会に丸山課長、三谷係長、長谷川さんが参加。

住民主体Bの「人材確保」が主なテーマとなった。

神戸市より人材確保のためボランティアポイント付与の案が出た。福祉ネット側はボランティアをやりたい人材はいるはず。私たちの活動が一般市民に知られていないことが課題。神戸市に広報してほしいと要望した。

11月1日（金）16時30分～18時

神戸市介護保険課訪問。（村山、宗政、岡田、秦、須見、寺内、松永）

事前に住民主体Bに対する要望を書面（※A）で提出したが、国が定めた制度のため変更はできないとの回答。

丸山課長よりボランティアポイント付与を検討する案が出たので、朝のゴミ出しから始めてはどうかと意見を出した。今回は神戸市が案を作り、再度話し合うことになった。

11月2日

介護保険課より朝のゴミ出しにポイント制度を検討するため、各団体の独自のゴミ出しの件数(※B)を求められ、8団体が活動状況を提出した。

12月27日

ポイント付与の件、来年度には間に合わないが引き続き検討していくとの返事あり。

(※A)

見直しの要望

- 1、サービスを区別せず、現実に沿った内容にしてください。ごみ出しの提供回数も見直してください。
- 2、初年度の利用がない場合も運営費は必要です。また次年度からの運営費補助も必要です。
- 3、各区に生活支援のコーディネート業務を円滑に進めるサポートセンター設置を要望します。
- 4、側面支援のお願い(地域で助け合う仕組み、人材を紹介する仕組みが必要)

実施団体及び人材について

- 1、上記見直しがあれば、参画する団体があります。私たちはノウハウを提供できます。
- 2、各団体の経験を生かし、独自の人材育成を企画します。
- 3、住民主体の活動は広がりを見せています。行政の支援があれば全市に広げることができます。

(※B)ゴミ出し件数(神戸市に提出したデーターに2019年度を追加)

団体名	年度	住民主体 B		自主事業	支援者 人数
		利用者数	延べ件数	延べ件数	
神戸ライフ・ケア協会	2018 年度			2	12
	2019 年度			1	13
鶴甲サポートセンター	2018 年度			685	7
	2019 年度			1004	10
花たば	2018 年度			1437	25
	2019 年度			1864	45
神戸西助け合いネットワーク	2018 年度			104	2
	2019 年度			156	2
西すず安心センター	2018 年度	住民主体 B 脱退 手間暇がかかり、事業として成り立たないため		212	5
	2019 年度			269	6
リーフグリーン	2018 年度	16	158	3000	6
	2019 年度	19	251	3062	12
福祉ネットワーク西須磨だんらん	2018 年度	10	179	1595	13
	2019 年度	18	225	1713	14
コープくらしの助け合いの会	2018 年度	1	1	30	4
	2019 年度	4	32	132	7
東灘地域助け合いネットワーク	2018 年度	0	0	687	66
	2019 年度	15	102	508	63

【3】 ネットワーク事業

(1) 居住支援事業

本事業は住宅確保に配慮が必要な高齢者、障害者、子育て世帯等の方々に賃貸住宅の情報を提供し、引越しや入居後の見守りなどの生活支援を実施する事業です。2017年10月住宅セーフティネット法が施工され、以下の3団体は2019年5月14日、兵庫県より「住宅確保要配慮者居住支援法人」の指定を受けました。また国土交通省の補助金を頂き、事業に取り組みました。

居住支援法人の指定状況

指定No.	団体名	エリア	対象要配慮者
兵居支第 0006 号	神戸YWCA	中央区、灘区	すべての住宅確保要配慮者
兵居支第 0007 号	東灘地域助け合いネットワーク	東灘区、灘区	高齢者、子育て世帯、低額所得者、被災者、軽度の障害者、生活困窮者、シングルマザー
兵居支第 0008 号	福祉ネットワーク 西須磨だんらん	須磨区	すべての住宅確保要配慮者

居住支援事業に関する勉強会（役員会）

開催日時		出席	ゲスト	主な内容
第 1 回	8/29	18 名	Wacca 茂木、田坂	Wacca の活動について
第 2 回	9/19	9 名	すばる－朱晴－ 宇根	要配慮者の見守りと成年後見制度について
第 3 回	10/17	7 名	すまいるネット 3 名	神戸市の取り組み
第 4 回	11/21	7 名	(株)casa 3 名	家賃債務保証について
第 5 回	12/19	5 名	はんしん 高齢者くらしの 相談室 藤田	成年後見制度、死後事務委任について
第 6 回	1/20	9 名	津久井弁護士	災害と居住支援

活動状況の報告（交付決定日～令和2年3月31日）

※同一の要配慮者で複数の項目に該当する場合は、重複してそれぞれの項目に計上

		助け合い	YWCA	だんらん
入居前の支援	入居に向けた相談等（実対応人数）	29	17	5
	不動産店の同行・コーディネート	15	2	3
	入居の成立件数	3	2	0
入居後の支援	見守り	2	0	0
	相談等	2	0	0

(2) ひょうご居住支援団体発掘・育成事業の採択

はなたば、神戸コミュニティラボ、神戸西助け合いネットワークが採択された。

各団体の行った活動は別紙（※C）を参照してください。

(3) コープこうべ主催の「介護職員初任者研修」アンケートと連携

(YWCA 寺内さん、ひょうご・まち・くらしと山口さんより提案)

趣旨：人手不足を解消するために、コープが実施する研修を「コープこうべ主催、ひょうごん福祉ネット後援」など両者の協働で課題解決の方法を考えたい。

福祉ネットの会員 21 団体にアンケートを送付し 17 団体が回答した。専門職の不足、厳しい雇用環境が浮き彫りになり、連携して研修開催することに全団体が「賛成」。2020 年 4 月から介護職員初任者研修課程のスタートが決まった。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむを得ず中止となった。

【4】例会、役員会の開催と主な事業一覧 (2019/4/1～2020/3/30)

定例会	月 日	出席数	役員会出席数	プロジェクト会議、意見交換他
第 1 回	4/18(木)	16	8	
第 2 回	5/16(木)	18	8	
第 12 回総会	6/15(日)	19		
第 3 回	7/18(木)	16	8	7/31 ゴミ出しプロジェクト
第 4 回	8/29(木)	18	18	8/29 介護保険課意見交換会①
第 5 回	9/19(木)	13	8	
第 6 回	10/17(木)	12	7	
第 7 回	11/21(木)	13	8	11/1 介護保険課意見交換会②
第 8 回	12/19(木)	14	7	
第 9 回	1/27(月)	19	8	
第 10 回	2/20(木)	13	8	
第 11 回	3/22(木)			新型コロナ感染拡大防止のため中止

別紙（参照 C）

令和元年度ひょうご居住支援団体発掘・育成支援事業の報告

事業主体名 ①神戸コミュニティラボ

1 事業の概要

<基幹事業>

(1) 円滑な入居に向けた支援

①住宅相談窓口の設置

<住宅相談窓口概要>

*神戸コミュニティラボ事務所

開設日：令和元年10月1日～令和2年1月20日（原則 毎週月・水・木・金）

設置場所：〒650-0012 神戸市中央区北長狭通3丁目1-12 神戸バザービル2階

*コミュニティハウス「コミラボ KOBE」（サブリース住宅）（原則 毎週月～金）

開設日：令和元年10月28日～令和2年1月20日

設置場所：〒651-0061 神戸市中央区上筒井通1丁目5-14 ベレオ王子公園101

②居住支援に係る説明会の開催

*神戸コミュニティラボ「Salon de Tor」

≪第1回≫令和元年10月17日（日）午前10時30分～12時

≪第2回≫令和元年11月17日（日）午前10時30分～12時

≪第3回≫令和元年12月15日（日）午前10時30分～12時

≪第4回≫令和2年1月19日（日）午前10時30分～12時

*コミュニティハウス「コミラボ KOBE」

≪第1回≫令和元年10月28日（月）午前10時30分～12時

≪第2回≫令和元年11月10日（日）午前10時30分～12時

(2) 安定的な居住に向けた支援

<住宅相談窓口概要> 開設日：令和元年10月28日

(3) 他の居住支援団体との情報交換会

ベレオ王子公園101 コミュニティハウス「コミラボ KOBE」内

地域において連携して居住支援活動を行うため情報交換会を実施した。

≪第1回≫令和元年11月28日（金）午前11時30分～午後3時

≪第2回≫令和元年12月11日（水）午後5時～8時

≪第3回≫令和2年1月28日（月）午後5時～8時

*一般市民・地域住民対象 「ひょうご居住支援事業」の周知・広報活動

≪第1回≫令和元年10月31日（木）・11月1日（金）モダナークギャラリー

≪第2回≫令和元年11月23日（土・祝）神戸北田園スポーツ公園おもちゃ箱フェスタ

≪第3回≫令和2年1月30日（木）・1月31日（金）モダナークギャラリー

*セーフティネット住宅登録の推進

賃貸住宅「ベレオ王子公園（神戸市中央区上筒井通1-5-14）」住戸5戸登録

事業主体名 ②NPO 法人はなたば

* 住宅相談窓口を 10/1～1/20 まで毎週火・水・金曜日開設した。

相談件数 約 15 件

同行支援 延べ 6 回

下見同行 延べ 2 回

* 神戸 YWCA の居住支援サテライト相談窓口を 9 月～1 月末日まで毎週木曜日開設した。

* 家主・不動産事業者対象のセイフティネット住宅の研修会を 2 回実施し、延べ 39 人が参加した。

その結果コミュニティハウス花たば 16 戸をセイフティネット住宅に登録した。

* 居住支援団体との情報交換会に積極的に参加し、居住支援法人取得について検討したが今年度では見送ることにした。相談窓口については継続する事とし、6 月から実施している。

事業主体名 ③NPO 法人神戸西助け合いネットワーク

1. 令和 1 年 9 月 20 日発掘事業申請

2. 令和 1 年 11 月 1 日発掘事業開始、令和 2 年 1 月 20 日終了

対象区域：須磨区・垂水区の全域

3. 要支援者受付状況：期間内 2 名相談受付。うち 1 名転居等完了。1 名継続支援中。

4. 研修会等の参加：11 月 1 日より 12 月 11 日までの間、各種研修会に参加。

5. 自主事業：12 月 16 日、須磨名谷パティオホールにて自主研修会を開催。7 名参加。

6. 令和 2 年 1 月 20 日事業完了実績報告書提出、同月末補助金交付。

4、2020 年度 役員の承認

役 名	担当者氏名	団体名	
代 表	村山 メイ子	(認特)東灘地域助け合いネットワーク	再 任
副 代 表	須見 恭 子	(特)花たば	再 任
	宗政 美 穂	(特)福祉ネットワーク西須磨だんらん	再 任
役 員	寺内 真 子	(公)神戸 YWCA	再 任
	高梨 敦 子	神戸コミュニティラボ	再 任
	藤田 和 史	(認特)はんしん高齢者くらしの相談室	再 任
監 事	宇根 晴 美	朱 晴	再 任

2020 年度 構成団体一覧

団体会員名			
1	(特)てみずの会	12	(特)神戸西助け合いネットワーク
2	(認特)東灘地域助け合いネットワーク	13	(特)福祉ネットワーク西須磨だんらん
3	コープくらしの助け合いの会	14	(特)ゆいまー神戸
4	(特)神戸ライフ・ケア協会ゆとり	15	(特)福祉ネット星が丘
5	(特)サポートステーション灘・つどいの家	16	NPOひまわり会
6	(特)花たば	17	(特)西すず安心センター
7	鶴甲サポートセンター	18	富士見ヶ丘コミレス
8	(特)COM総合福祉研究所	19	(認特)市民活動センター・神戸
9	(公)神戸YWCA	20	(認特)はんしん高齢者くらしの相談室
10	神戸コミュニティラボ	21	すばる ー朱晴ー
11	(特)リーフグリーン	22	ひょうご・まち・くらし研究所